

事業所名

こども発達支援センター ひかりっこ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

27日

法人（事業所）理念	一、障がいのある方たちが主役となる運営や、他の方たちと変わることなく住み暮らすことのできる地域づくりを目指します。二、障がいのある方たちだけでなく、自分たちの働きがいや環境の向上を大切にします。三、平和な社会を実現するため、できるだけ多くの方々と協力します。				
支援方針	障がいのあるなしにかかわらず「統合保育」という環境の中で子どもたちは「遊び」を通してお互いを認め合い、共に成長し、いろいろな力を伸ばしていきます。 また、子育ての不安や困りごとの相談など家族支援も行なっております。 【活動の柱】Ⅰ.子どもの発達支援 Ⅱ.家族・母親支援 【特徴】 1.統合保育（インクルーシブ保育） 2.医療的ケア児への対応 3.近隣市町の広域支援				
営業時間	9時	0分から	15時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に検温及び健康観察を行います。 ・医療的ケアが必要な利用児は保護者及び主治医と連携し、看護師が必要な対応を行います。 ・身辺自立等、個々の利用児に合わせて課題に取り組み、習慣化できるように支援します。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス、ボールプール、バランスボール、トランポリン、散歩、粘土等、それぞれの利用児の好きな活動を通じて楽しく身体を動かします。 ・製作活動を通じて道具を使ったり、手先を動かす機会を増やします。 ・正しい姿勢で元気身体を動かします。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のテーマに沿った製作活動や季節に応じた行事を通じて季節を感じながら活動します。 ・製作活動では色や形、柔らかさ等素材に触れる楽しさと、自分で選び作る楽しさを提供します。 ・朝の会や給食・帰りの会等、一日の流れを作り、時間を意識しながら活動します。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち同士で関わる機会が増えるように職員が橋渡しします。 ・様々な人との関わりを通じて、いろいろな言葉に触れる機会を増やします。 ・うまく伝えられない利用児に対しても身振りや表情等から利用児の気持ちを職員が汲み取り、言葉にして他の人に一緒に伝える等して様々な人と関わる機会を得ながら自分の気持ちを伝えられる経験を増やします。 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や帰りの際に職員や他の利用児に挨拶する習慣を身につけます。 ・集団活動や好きな活動を通じて様々な人と関わる機会が増えます。 ・製作活動や集団活動、食事の際など、利用児同士で手伝ったり助け合う雰囲気大切にします。 			
家族支援	連絡ノートを活用し、本人の活動風景を保護者と共有します。 年に2回面談を実施し、保護者との相談に応じます。 また、必要の場合はいつでも相談に応じます。	移行支援	地域の幼稚園や担当相談支援員、各関係機関と連携し、サービス担当者会議に出席します。		
地域支援・地域連携	毎年開催される子ども連絡会に参加、地域の方に料理教室やペアレントトレーニングの開催等を通じて地域との交流の機会を提供します。	職員の質の向上	職員会及びケース検討会を毎月実施します。 虐待防止に関する研修に参加します。 外部で開催される研修会に参加します。		
主な行事等	▽毎月のテーマに応じた製作活動。▽家族参観、運動会、遠足、発表会、お別れ企画、卒園式、修了式等の家族行事▽夏祭り、芋煮会、正月の遊び、まめまき、お茶会、もちつき体験、おこしものづくり等季節ごとのイベント。▽毎月1回の調理体験▽避難訓練▽七夕飾り、万国旗、鬼のお面を親子で製作				